

まちのわだい



身近なできごとや旬の話題を、企画振興課秘書広報担当（☎26550）までお知らせください。皆さんからの情報をお待ちしています!!

清掃をありがとうございます

シルバー人材センターの皆さんがボランティア

10月22日（水）、日野町シルバー人材センターの皆さんが、蔵王ダム、日野川ダム、役場周辺の清掃をしてくださいました。この日は、「シルバー環境美化の日」とされ、滋賀県内のシルバー人材センターが一斉に清掃活動が行われました。

日野町では約95名の方が清掃ボランティアに参加され、今年は新たに役場周辺の歩道の清掃を加えて行われました。

他の町に比べると、日野町はシルバー人材センターへの登録者数が人口の割合からみても少ないそうです。事務局長の中田稷（なかつまの）さんは、「もっと登録者数が増えるように」とおっしゃっていました。



▲役場近くの歩道では除草作業もしていただきました

日野菜を生かした行事がめじろおし

「原産 日野菜体験」

10月19日（日）、「花の郷 日野ダリア園」において、また、11月2日（日）には、「鎌掛3区夢遊楽会」による日野菜の収穫と日野菜漬作りが行われました。この体験は今年で3年目を迎え、中には県外からの参加者もありました。

参加者は、鎌掛3区夢遊楽会の皆さんが管理されている日野菜畑で収穫後、地元スタッフの皆さんと日野菜漬作り挑戦されました。

参加者の中には、「家でも作っていますが、本場の味を習いたいと思って来ました」と、おいしい日野菜漬を研究するために来られた方もいらっしゃいました。

日野菜漬けコンクール

11月2日（日）、鎌掛公民館で日野町日野菜漬けコンクールが行われました。日野菜と日野菜漬けを広くPRすることを目的に開催され、当日は35名の方が計48品を出品されました。さくら漬、酢漬、サラタ風など、多彩な日野菜漬けが集まりました。

特別審査員として、大津プリンスホテル総料理長である伊藤俊幸（いとうしゆんきつ）さんを迎え、25名の審査員によって、審査が行われました。9名の方が賞を受賞され、金賞には、篠村恵子（しのむらけいこ）さんが選ばれました。

翌日、文化祭が行われていた鎌掛公民館では、受賞者の日野菜漬けを食べることができ、来場者も「日野菜漬けの鉄人」の味を堪能することができました。



▶審査員による慎重な審査が行われました（日野菜漬けコンクール）



▶熱心に日野菜の漬け方を学ばれました（10/19）（原産 日野菜体験）

発見された石薬



▲滑石（カッセキ）



▲蛇含石（ジャガンセキ）



▲枳石（マスイシ）



まちのわだい



▲床下には10箱あり、3箱は口が開けられていました

貴重な石薬が発見されました！
近江日野商人館で展示

このたび、近江日野商人館西蔵の床下から、古くから石薬として利用されていた「蛇含石」、「滑石」、「枳石」が発見され、11月16日まで開かれていた「こんなことが見つかった展」でも一般公開されました。

これらの石は、削って粉末にしたりして薬に使われていたようです。持ち主であった山中家の古文書からも、京都の小西九兵衛という薬種問屋から買ったという記述があったそうです。現在、富山大学で、詳しい成分検査が行われています。薬のまちである日野で、このような発見がされたことは、これからの日野商人の商いを調査していくうえで、大変貴重なものとなりました。



▶制限時間2時間で200問の問題に答えるというものでした



▶一斉にキジを放鳥。学校林に勢よく飛んでいきました

日野のものしり博士になろう！
初の試み、わたむき検定を実施

11月9日（日）、日野公民館において、日野町中央公民館主催の第1回「わたむき検定」が実施されました。

この検定は、日野のシンボルである綿向山から「わたむき検定」と名づけられ、日野に関する問題200問（三択）に答えるというものです。200点満点中、180点以上で「わたむき博士」、160点以上で「准わたむき博士」という称号を得ることができます。

当日は29名が受験し、小学生から80歳代までの幅広い年代の方が挑戦されました。日野観光ボランティアガイド協会の協力のもと採点が行われ、結果、3人の「わたむき博士」、5人の「准わたむき博士」が誕生しました。

キジが増えてくれますように
南比都佐小学校でキジの放鳥

10月27日（月）、南比都佐小学校5年生26人がキジの放鳥を行いました。

今回は、南比都佐小学校の学校林で30羽のキジを放ちました。

鳥獣保護員の加納半史郎さんからキジを放鳥することの意義を教えてもらい、1人1羽ずつもって、放鳥しました。

キジは「益鳥（農作物を害する虫を食べる、人の生活に役立つ鳥）」であり、放鳥することによって私たちの生活にも役立ってくれます。

日頃触れることのないキジを怖がる子どもたちもいましたが、無事放鳥し、貴重な体験となりました。